・資金不足比率：平成25年度の実績値14.9％。計画値35.1％より20.2ポイントの改善。

・収入増加方策

マナカ付学生証の導入やマナカ３周年キャンペーンを実施したほか、ゴールデンウィーク特割ドニチエコきっぷをはじめとしたよりお値打ちな乗車券の発売、各種スタンプラリー、他事業者とのタイアップによる駅ちかウォーキングの実施など積極的な乗客誘致に努めたことにより、効果額は計画を３億円上回った。

・支出抑制方策

給与カットの継続、生涯賃金で約20％の減となる給料表のすべての現業職員への適用など人件費の抜本的な効率化や、経費の節減等の効果額は計画を14億円上回った。

・自動車運送事業の経営基盤安定化方策

バス回転場用地の一部売却による収入増があったものの、交通事業基金の取崩額が計画を下回ったことにより、効果額は計画を４億円下回った。

・自動車運送事業会計への他会計からの出資

一般会計からの出資は計画を４億円下回った。

⑵　資金不足額解消の状況

（単位：億円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	平成25年度（第５年度）
当初計画　A		△ 9	28	9	4	5
解消実績額　B		5	40	11	9	11
現在計画　C		—	—	—	—	11
B－A又はC－A		14	12	2	5	6
資金不足額	105	100	60	49	40	29

備考　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

⑶　資金不足比率の状況

（単位：％）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）		平成25年度（第５年度）	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	55.3	61.0	53.6	44.9	31.7	39.6	26.1	37.7	20.8	35.1	14.9

⑷　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・お客様サービスの向上

車内確認用補助ミラーを大型・中型ノンステップバス全車に設置するとともに、車内案内放送に路線誤認を防止する対策を講じたほか、ノンステップバスの購入、照明付標識・上屋・ベンチの整備、施設の耐震対策など、安心・安全で快適なサービスの提供に努めた。

・活力ある職場づくり

「人財育成プログラム」の実施、職員提案制度、局長ホットラインなどにより、職員がいきいきと働くための職場づくりに努めた。

・計画の進行管理

外部有識者の意見をふまえ進行管理を行うため設置した名古屋市交通事業経営健全化委員会を、５月及び12月に開催した。